

生涯スポーツ優良団体

千歳 向陽台 サッカー スポーツ 少年団選出

文 部 科 学 省

文部科学省は14日、2016年度生涯スポーツ功労者および生涯スポーツ優良団体を発表した。道内から生涯スポーツ功労者に道アイズホッケ―連盟副会長などを務める村上一元さんら6人、生涯スポーツ優良団体に千歳市の向陽台サッカースポーツ少年団(井田正裕代表)など5団体が選ばれた。表彰式は10月7日、東京都千代田区霞が関の中央合同庁舎で行われる。

同少年団は03年度に道スポーツ少年団賞、12年度に日本スポーツ少年団創設50周年記念事業優秀団表彰も受賞している。

向陽台サッカースポーツ少年団は1987年3月結成された。サッカーを通じて社会生活に最も必要な共同協力の精神を養い、体を鍛え、強く生きる青少年の育成を目的に活動している。幼稚園児からコーチ役の中学生まで男女33人が参加し、平日は練習、休日は地域で開かれる大会に出

場。市が開催する地域振興事業にも積極的に参加していることなどが認められた。

今年度は、ほかに名寄市の風連町剣道スポーツ少年団と風連町野球スポーツ少年団、根室管内中標津町の江イミングクラブ、江別市の江別スポーツ少年団が生涯スポーツ優良団体に選ばれた。

また、生涯スポーツ功労者は村上さんのほか、新保寛さん(道スケート連盟専務理事)、加納利一さん(道卓球連盟顧問)、小林輝幸さん(旭川市スポーツ少年団本部長)、上野和香子さん(旭川市スポーツ少年団副理事長)、青木佐智

子さん(とうや湖レクリエーションクラブ会長)が表彰を受ける。